

ちゅうごく5県プロスポーツネットワーク 「スポコラファイブ」について



2020年12月23日

株式会社スポーツコミュニケーションズ 代表取締役
(スポコラファイブ プロジェクトマネージャー)

二宮 清純

中国5県の人口推計

中国5県の人口推計			
	総人口	自然増減	社会増減
鳥取	555,558(▲0.9)	▲3,579	▲1,260
島根	674,346(▲0.8)	▲4,855	▲830
岡山	1,889,586(▲0.5)	▲8,353	▲298
広島	2,804,177(▲0.5)	▲10,646	▲2,334
山口	1,358,336(▲0.9)	▲10,060	▲2,028
5県計	7,282,003(▲0.6)	▲37,493	▲6,750
(注) カッコ内は対前年増減率%、▲はマイナス (出所) 総務省、2019年10月1日時点の人口推計			

•外国人を含む総人口は728万2000人。前年から4万4200人（0.6%）減少した。岡山県と山口県を除く3県で減少率が拡大。65歳以上が占める高齢化率は広島県を除く4県で3割を超えるなど、高齢化の動きもさらに加速している。

•人口の減少率が最も大きかったのは鳥取県と山口県でともに0.9%減となった。鳥取県、島根県、広島県では減少幅が18年と比べてそれぞれ約0.1ポイント拡大した。

•転出と転入の差である「社会増減」では、岡山県が298人の社会減となった。前年（1470人の減）と比べて減少幅が改善。18年7月の西日本豪雨に伴う社会減の反動が出たとみられる。一方、昨年39人の社会増となった島根県は830人の減少に転じた。

•各県での高齢化も進んでいる。65歳以上が占める高齢化率では、鳥取県が32.1%、島根県が34.3%、岡山県が30.3%、山口県が34.3%と、4県で3割を超えた。広島は29.3%と前年と比べて0.3ポイント拡大した。15～64歳の生産年齢人口は島根県が53.4%と、秋田に次いで全国で2番目に低かった。

都道府県別人口増減率

表2 都道府県別人口増減率

(単位 %)

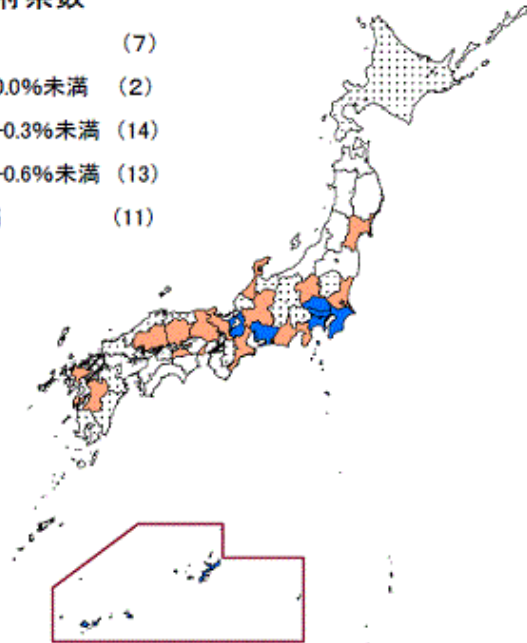
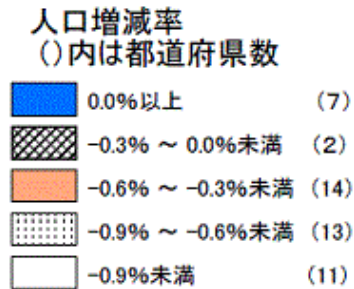
人口増減率 順位	都道府県	人口増減率		人口増減率 順位	都道府県	人口増減率		人口増減率 順位	都道府県	人口増減率	
		2019年	2018年			2019年	2018年			2019年	2018年
-	全 国	-0.22	-0.21	16	群馬県	-0.50	-0.39	32	福 井 県	-0.78	-0.59
1	東 京 都	0.71	0.72	16	石 川 県	-0.50	-0.35	33	山 梨 県	-0.80	-0.71
2	沖 縄 県	0.39	0.31	18	岐 阜 県	-0.51	-0.58	34	島 根 県	-0.84	-0.71
3	埼 玉 県	0.27	0.28	19	熊 本 県	-0.53	-0.48	35	鳥 取 県	-0.86	-0.84
4	神 奈 川 県	0.24	0.20	20	佐 賀 県	-0.55	-0.55	36	山 口 県	-0.88	-0.90
5	愛 知 県	0.21	0.16	21	三 重 県	-0.58	-0.46	37	愛 媛 県	-0.93	-0.90
6	滋 賀 県	0.11	-0.01	22	茨 城 県	-0.59	-0.52	38	福 島 県	-0.98	-0.99
7	千 葉 県	0.08	0.14	22	香 川 県	-0.59	-0.56	39	新 潟 県	-1.00	-0.92
8	大 阪 府	-0.04	-0.12	24	栃 木 県	-0.61	-0.56	40	和 歌 山 県	-1.05	-1.08
9	福 岡 県	-0.07	0.01	25	富 山 県	-0.66	-0.52	40	長 崎 県	-1.05	-0.99
10	京 都 府	-0.31	-0.32	25	奈 良 県	-0.66	-0.63	42	徳 島 県	-1.09	-0.99
11	兵 庫 県	-0.33	-0.34	27	北 海 道	-0.68	-0.65	43	岩 手 県	-1.12	-1.12
12	宮 城 県	-0.40	-0.33	28	宮 崎 県	-0.69	-0.74	44	山 形 県	-1.15	-1.04
13	静 岡 県	-0.43	-0.44	29	長 野 県	-0.70	-0.80	44	高 知 県	-1.15	-1.06
14	岡 山 県	-0.46	-0.47	30	大 分 県	-0.71	-0.75	46	青 森 県	-1.31	-1.22
14	広 島 県	-0.46	-0.41	31	鹿 児 島 県	-0.74	-0.70	47	秋 田 県	-1.48	-1.47

注) 人口増減率 (%) = $\frac{\text{人口増減 (前年10月～当年9月)}}{\text{前年10月1日現在人口}} \times 100$
 人口増減 = 自然増減 + 社会増減

●人口増減率を都道府県別にみると、増加は7都県となっており、東京都が0.71%と最も高く、次いで沖縄県が0.39%、埼玉県が0.27%、神奈川県が0.24%などとなっています。一方、減少は40道府県となっており、秋田県が-1.48%と最も高く、次いで青森県が-1.31%などとなっています。なお、人口減少率が1%以上となったのは9県で、前年から3県増加しています。

●人口増加率は前年に比べ、沖縄県、神奈川県及び愛知県で拡大、東京都、埼玉県及び千葉県で縮小しています。なお、滋賀県は減少から増加に転じています。一方、人口減少率が前年に比べ拡大したのは26道県で、うち福井県（対前年差0.19ポイント）が最も拡大しています。減少率が縮小したのは大阪府（同0.08ポイント）など11府県となっています。なお、福岡県は増加から減少に転じています。

図4 都道府県別人口増減率



出典：総務省統計局

都道府県別人口の増減要因

図5 都道府県別人口の増減要因（自然増減率及び社会増減率）

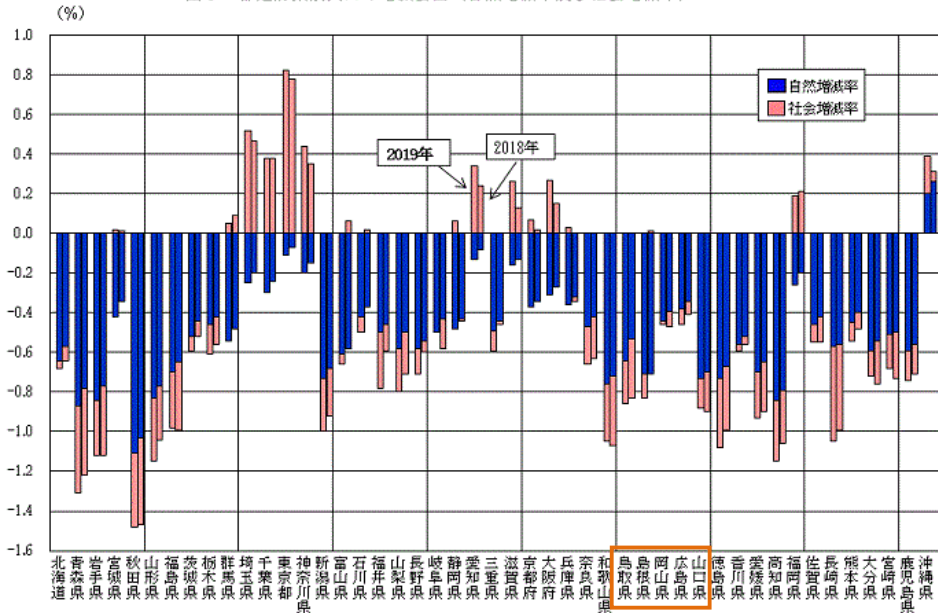


表3 人口増減要因別都道府県

増減要因	都道府県名		都道府県数 2019年	都道府県数 2018年
	2019年	2018年		
人口増加	自然増加・社会増加	沖縄県	1	1
	自然増加・社会減少		0	0
	自然減少・社会増加	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 愛知県 滋賀県	6	6
人口減少	自然増加・社会減少		0	0
	自然減少・社会増加	宮城県 群馬県 静岡県 京都府 大阪府 兵庫県 福岡県	7	8
	自然減少・社会減少	北海道 青森県 岩手県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 三重県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	33	32

- 自然増加は沖縄県1県のみとなっています。
- 人口が増加した7都府県のうち、沖縄県のみ自然増加・社会増加となり、他の6都府県は自然減少・社会増加となっています。
- 人口が減少した40道府県は全て自然減少となっており、うち大阪府、福岡県など7府県が社会増加、他の33道府県で社会減少となっています。前年と比較すると、静岡県及び兵庫県は社会減少から社会増加に転じ、富山県、石川県及び島根県は社会増加から社会減少に転じています。

Cターンとカープ

地方に生まれ育った人が都会の学校に進み、卒業後、再び地方に戻って働くことをUターンという。一方、Iターンは都会に生まれ育った人が地方に移住することをいう。

では「Cターン」とは？ 日本経済新聞電子版（2018年11月15日）によると「カープのある暮らしを前面に出す」のが「Cターン」なのだという。言うまでもなく「C」は「CARP」の頭文字である。

旗振り役は広島県の地域力創造課。〈カープ愛が高じて、居住地まで移す現象。コアの力は地域経済にも貢献する〉と同紙は結んでいる。

また中国新聞によれば、広島市広域都市圏推進課が中心となり、5月に移住相談会を既に開いているという。〈圏域に広島東洋カープの応援や、海や山でのスポーツを目的とした移住をPRする〉（2018年5月18日付け）

リーグ3連覇を達成したカープの勢いはとどまることを知らない。広島市民や県民にとってカープは「生活の一部」だが、そうしたファンが日本中に増殖しているということだろう。

スポコラファイブとは

【正式名称】 ちゅうごく5県プロスポーツネットワーク（スポーツ×コラボレーション×5県）

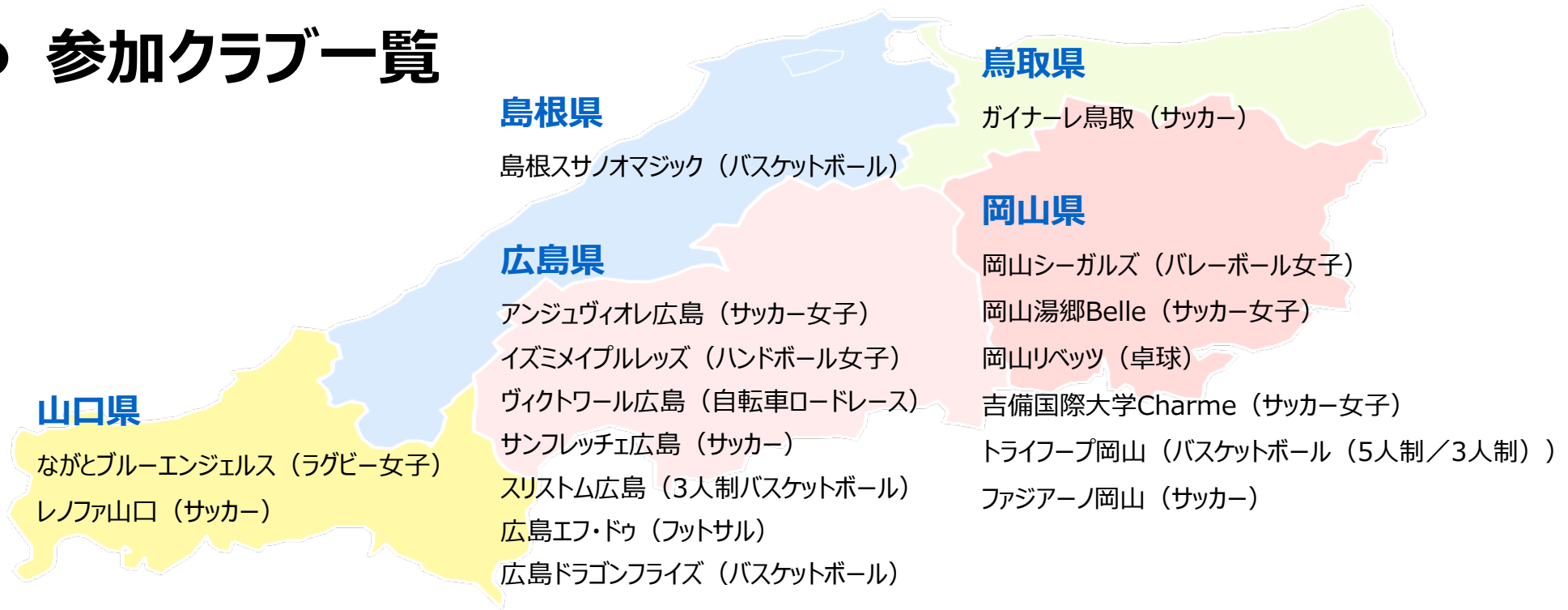
※スポコラファイブの名称及びロゴマークについては中国経済産業局長名で商標登録済

【発足】 2017年（平成29年）

【対象】 中国5県で活動するプロ／独立系スポーツクラブ（2020年12月現在17クラブ）

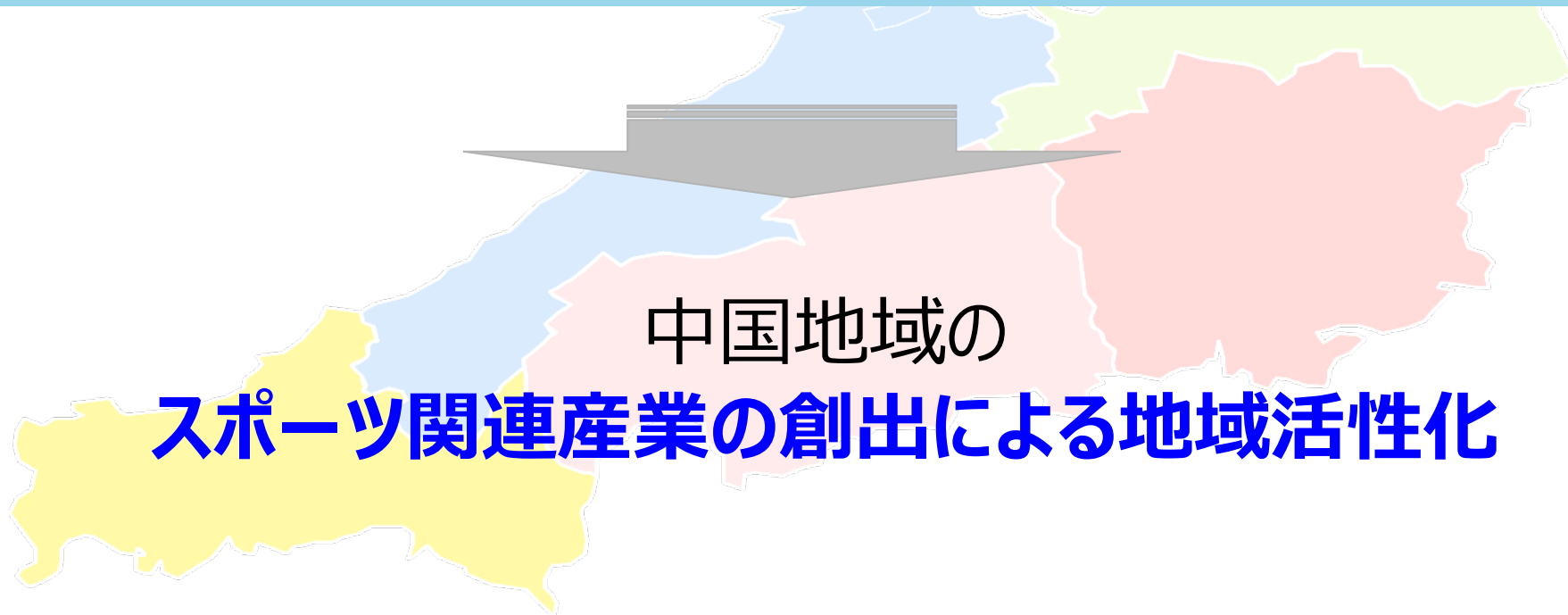
【事務局】 中国経済産業局 流通・サービス産業課

● 参加クラブ一覧



スポコラファイブのビジョン

- ①中国地域のプロスポーツ団体が、**安定的・継続的に活動できる経営基盤を築く**とともに、スポーツ団体間や異分野との連携を通じてサービスや商品の魅力を高め、国内外からの観客を楽しませる“キラーコンテンツ”になる。
- ②中国地域のプロスポーツ団体と地域内外のスポーツ関連企業が、自律的に連携・共創し、**新たなサービスや商品を生み出す産業が創出**される。



2020年度実施体制

【主宰】 中国経済産業局 流通・サービス産業課

【事務局】 伊藤忠ファッションシステム株式会社

【実施体制】 プロジェクトマネージャー（1名）、コーディネータ（4名）



コーディネータ

スポーツデータバンク(株) 石塚 大輔



プロジェクトマネージャー

(株)スポーツコミュニケーションズ
二宮 清純



コーディネータ

(株)中国放送 坂上 俊次



コーディネータ

広島経済大学 北野 尚人



コーディネータ

大阪産業大学 永田 靖

取組紹介 (2020年度)

スポーツ関連ビジネス創出シンポジウム2020

スポーツと地域の関係にフォーカスしたシンポジウムを11月18日に開催。(株)ジャパネットたかた創業者の高田明氏とスポコラファイブのプロジェクトマネージャー（二宮清純）のトークセッションに続き、スポコラの活動について紹介（オンライン開催、参加者約130名）。



高田明氏とのトークセッション
「プロスポーツを核とした地域活性化」



スポコラ活動報告（「スポーツ新連携
パートナーシップ事業」(CYCLE
LIFE(株) (ヴィクトワール広島) 中山
代表取締役)



対戦相手ファンを
呼び込み観光振興
B1広島・高根がツアー

プロバスケットボール男子B1リーグ（B1）の広島ドラゴンフライズと、対戦相手のファンを本拠地に呼び込む「アウェイツアール」を企画する瑞穂社長（左列）

アウェイツアールは、地元企業と協力してツアーを組む。広島ドラゴンフライズは、対戦相手のファンを本拠地に呼び込む「アウェイツアール」を企画する瑞穂社長（左列）

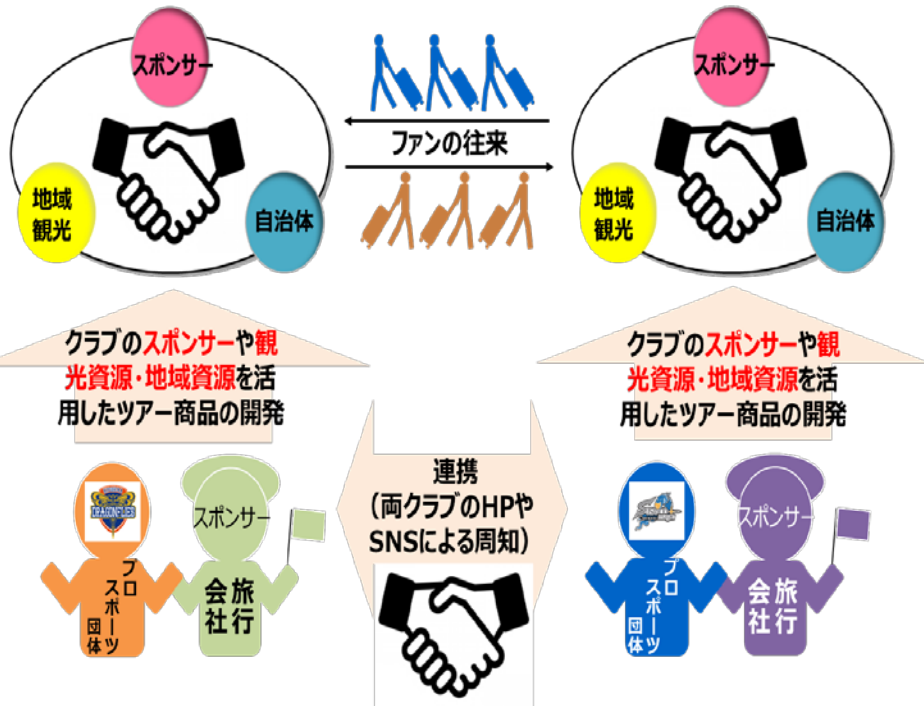
月にはバスツアーや観光ツアーを企画する。相手チームの本拠地の松江市などからファンを集め、福山市内の宿泊施設やサイゼリヤの駐車場にバスを停め、観光客と交流する。観光客の増加を促す。観光客の増加も狙う。ドラゴンフライズのファンを対戦相手の本拠地を訪れるツアーを企画している。昨季の観客数の平均入場料はドラゴンフライズが2,800円、サイクルライフが2,500円。サイクルライフは「将来的には中国地方以外のチームとも連携したい」と意気込みだ。

（森岡裕士）

アウェイツーリズム実証事業

バスケットボールB1の島根スサノオマジックと広島ドラゴンフライズのホーム&アウェイゲームを実証モデルとして、スポンサーアクティベーション・観光振興に資する新たなツアー商品を開発。

● 相互のアウェイファンのおもてなしツアー実証（2021年2月予定）



島根スサノオマジックと広島ドラゴンフライズがB1で初対決！

※写真はB2時代の両チームの対戦（松江市総合体育館）



山陰地域活性化プロジェクト

複数の地域やクラブ※が連携して共通課題やテーマを設定し、面的にビジネスに取り組むことで、地域における新たな価値創造や関係人口・交流人口の増加につなげる。

※鳥取ブルーバース、ガイナレ鳥取、島根スサノオマジック、ディオッサ出雲、松江シティFC、レノファ山口、ながとブルーエンジェルス

● キックオフミーティング@出雲市（11/26）

- ～ 山陰のプロスポーツクラブが神在月の出雲に集結 ～
- 各クラブの地域に対する想いを語り合い、ビジネスの実施に向けた包括連携協定について協議（山陰地域のテレビ局・新聞社を中心に6社が取材）。



2020.11.27 山陰中央新報



2020.11.27 日経新聞11

スポーツ新連携パートナーシップ事業（継続）

- 複数分野の企業等と中国地域のプロスポーツクラブ等が連携した上で、新商品・サービス検証・開発、販路拡大等への取組を促進する。
- 従来のプロスポーツクラブ等と企業による「スポンサーシップ」の関係ではなく、両者がビジネスパートナーとしての関係によりスポーツ資源を活用した新しい事業等に取り組むことで、地域や社会の課題等の解決に繋がる基盤を提供。

● 連携イメージ

プロスポーツ団体 ×

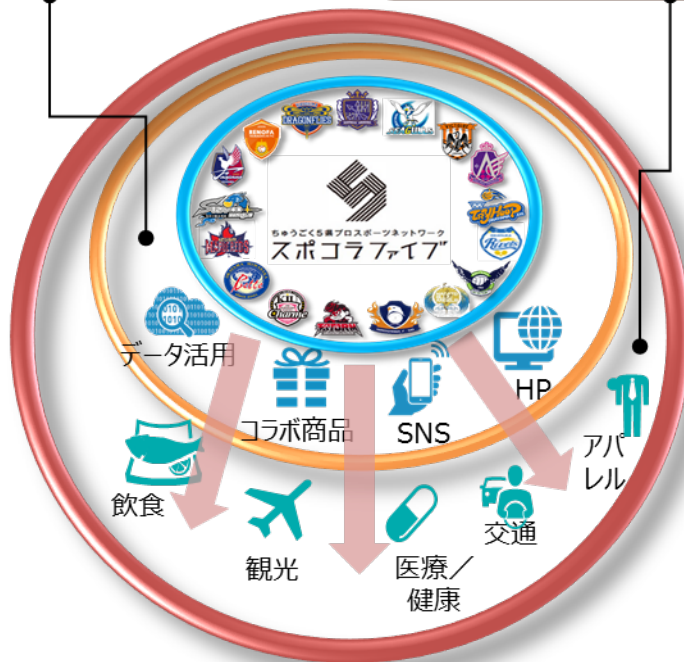
インナーメーカー
化粧品会社
機能性食品
印刷関連事業者
観光協会
自治体 等

× 大学

多様な連携をマッチング（案件協議中）

チーム主体の活動

異分野との多様な連携
による活動



取組紹介 (2019年度)

スポーツ関連ビジネス創出シンポジウム2019

- プロスポーツクラブと異業種企業の連携による新ビジネス創出を目的としたシンポジウムを開催（2019年9月5日、参加者約200名）。
- 日本トップリーグ連携機構代表理事会長の川淵三郎氏による基調講演、トークセッションに続き、川淵氏のスポコラファイブ名誉顧問就任を発表。



川淵三郎氏基調講演



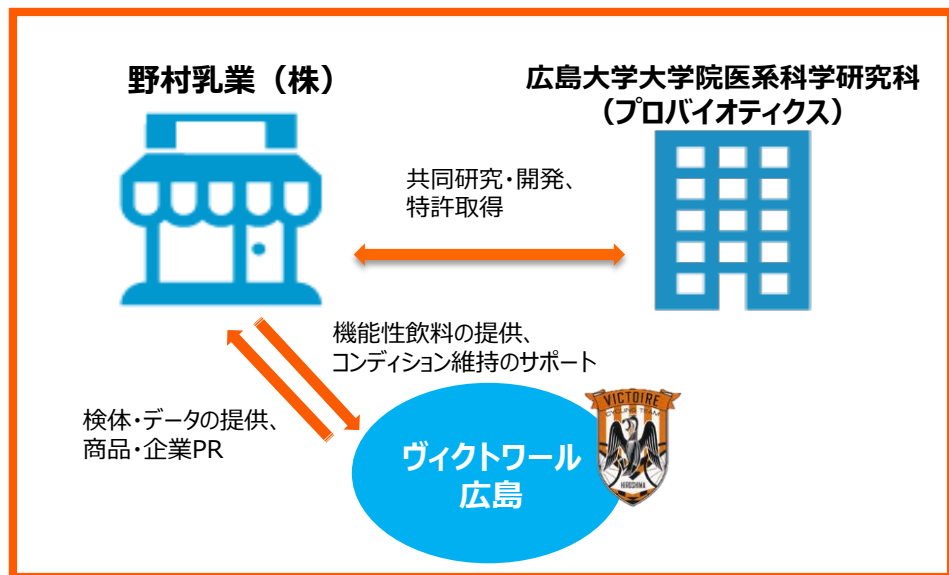
トークセッション



川淵三郎氏への
名誉顧問委嘱状の交付

スポーツ新連携パートナーシップ事業（1号案件）

- スポーツ新連携パートナーシップ事業の1号案件として、野村乳業株式会社×ヴィクトワール広島×広島大学のマッチングが成立（令和2年1月30日発表）。
- 選手が植物性乳酸菌飲料「マイフローラ」を日常的に摂取し、体調やパフォーマンスに関する各種データを取得・検証中。



健康増進の実現



スポコラファイブシンポジウムにおいて提携合意を発表
（2020年1月、写真は中国新聞より）

(参考) スポコラ参加クラブによる 独自の地域・社会貢献の取組

「人権擁護功労賞（法務省）」授賞（岡山シーガルズ）

- 2018年11月27日、法務省より平成30年度「人権擁護功労賞※」表彰について発表があり、岡山シーガルズが全国人権擁護委員連合会会長表彰状を受賞。

※人権擁護委員の活動等を通じて、関わりのある企業やNPO法人等の団体及び個人の中から、人権擁護上顕著な功績があったと認められたものに法務大臣又は全国人権擁護委員連合会会長が表彰を行うもの。

- 小学校においてバレーボールを通じて助け合いや思いやりの大切さを伝える「人権スポーツふれあい教室」、「女性の人権ホットライン」を始めとする各種人権相談窓口を広報するポスター作成への協力、「全国中学生人権作文コンテスト」岡山県大会の後援、「人権擁護委員の日」における街頭啓発活動への参加等の活動が評価。

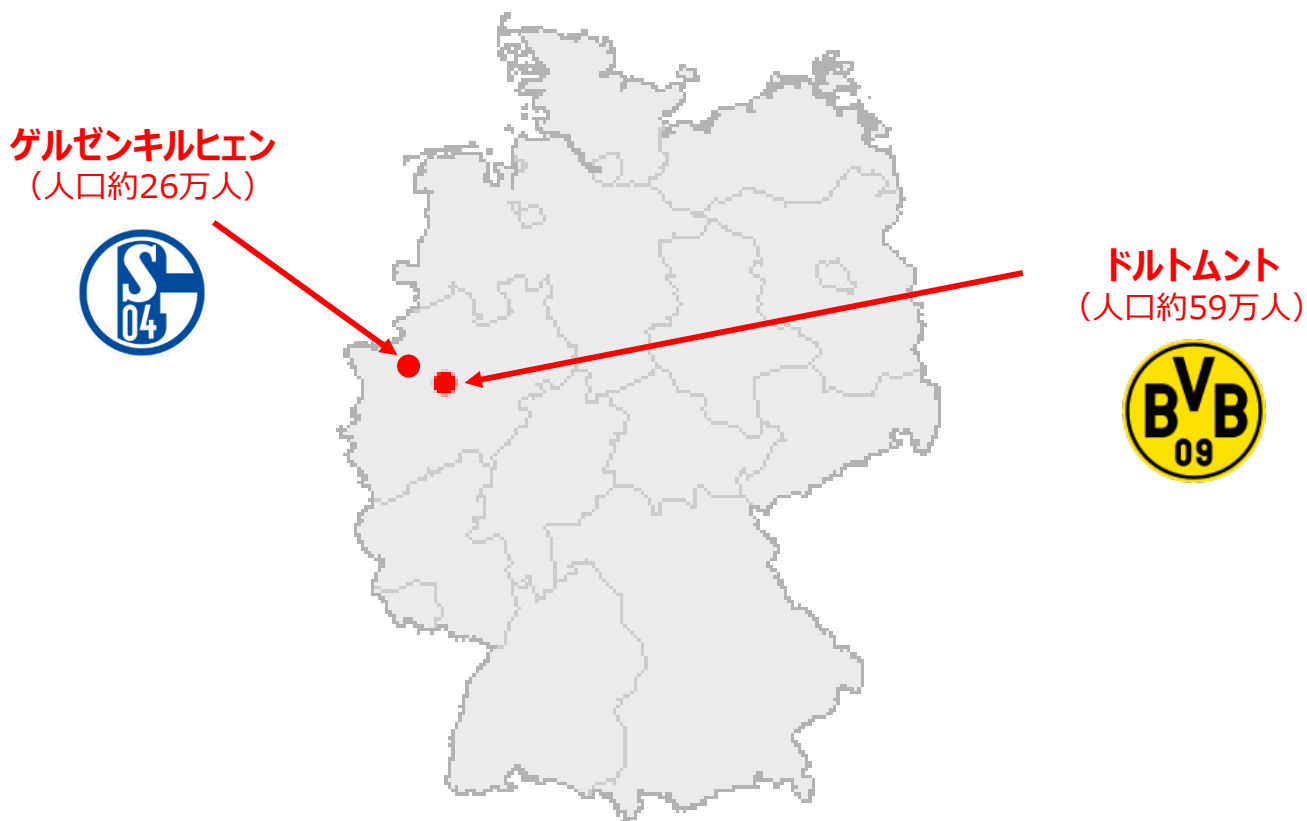


岡山シーガルズ

- ◆ 岡山市を本拠地とするVリーグ所属の女子バレーボールクラブ。1999年設立。Vリーグでは数少ない市民クラブチーム。
- ◆ 2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN 準優勝（6季ぶり・2回目）

ルールダービー

ルールダービー（独：Ruhrderby）またはレヴィアダービー（独：Revierderby）は、ドイツのサッカークラブであるシャルケ04とボルシア・ドルトムントとの間で行われる試合の総称である。Revierはドイツ語で「地域」、「地区」を意味する。現地ではレヴィアダービーと呼ばれている。どちらのクラブもルール工業地帯に本拠地を置き、シャルケ04の本拠地があるゲルゼンキルヒェンとボルシア・ドルトムントの本拠地があるドルトムントは約20 kmしか離れていない。



ボルシア・ドルトムントとシャルケ04



ボルシア・ドルトムント



原語表記 Borussia 09 e. V. Dortmund
愛称 Die Borussen
Die Schwarzgelben (黒と黄)
Der BVB (The BVB)
クラブカラー ■ 黒 (ブラック)
■ 黄 (イエロー)
創設年 1909年
所属リーグ ドイツ・ブンデスリーガ
所属ディビジョン 1部
ホームタウン ドルトムント
ホームスタジアム



ジグナル・イドゥナ・パルク
収容人数 80,720人 (座席:55,700、立見:25,020)
代表者  ラインハルト・ラウバル
監督  エディン・テルジッチ (暫定監督)
公式サイト [公式サイト](#)





ホームカラー アウェイカラー サードカラー

シャルケ04



原語表記 Fußballclub Gelsenkirchen-Schalke 04 e. V.[1]
愛称 Königsblau (王者の青)
Die Knappen (炭鉱夫たち)
クラブカラー ■ 青 (ブルー) ・ □ 白 (ホワイト)
創設年 1904年
所属リーグ ドイツ・ブンデスリーガ
所属ディビジョン 1部
ホームタウン ゲルゼンキルヒェン
ホームスタジアム



フェルティンス・アレーナ
収容人数 62,271
代表者  クレメンス・テンニース
執行委員会  クリスティアン・ハイデル (CEO; 最高経営責任者)
 アレクサンダー・ヨブスト (CBO; 最高ブランド責任者)
 ベーター・ベーターズ (CFO; 最高財務責任者)
監督  マヌエル・パウム
公式サイト [公式サイト](#)





ホームカラー アウェイカラー サードカラー





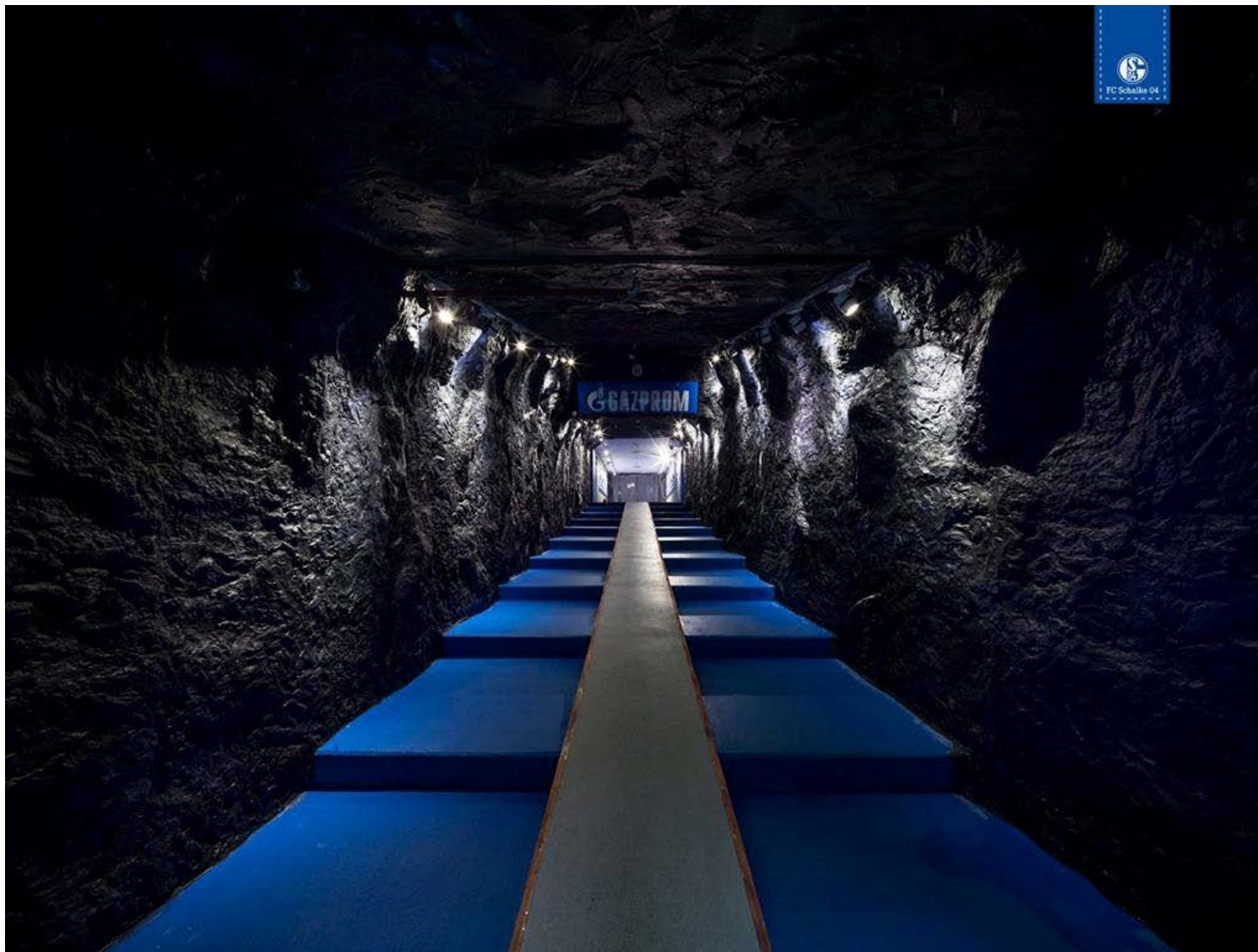
内田篤人がボトロップにある地下1000メートル以上のプロスペル・ハニエル鉱山を見学

球団の歴史を知らずして、ロイヤルティ（忠誠心）を持つことはできない。たとえば、なぜ「ピースナイター」なのか。指名されるまでは「野球をやるのだから、どこも一緒」という態度でいいが、指名され、球団と契約をかわす以上は、互いのことを理解しておく必要がある。提示された金額だけが契約ではないのだ。

ドイツ・ブンデスリーガにシャルケ04というクラブがある。日本ではこの8月に引退した内田篤人が7シーズンにわたってプレーしたクラブとして知られている。

炭鉱労働者たちに愛されたこのクラブでは、今でも「Glück Auf（グリュック アウフ）」という言葉がかわされる。「無事に地上へ」という意味だ。

内田も含め、選手たちは一度はヘルメット姿で炭鉱の中にある坑道に足を踏み入れ、鉱夫たちと食事をともにする。こうして、まちやクラブの歴史に接するのだ。日本のプロ野球も学ぶべきではないか。



2004年8月、シャルケの本拠地フェルティンス・アレナスタジアムの選手控室とピッチを結ぶトンネルを炭鉱の坑道へと模様替え

使用する言葉の定義づけ

ラグビー日本代表（2019年日本W杯）



ONE TEAM 居場所、役割、出番

Jリーグ創設前の議論



チームとクラブ
スポンサーシップとパートナーシップ
フランチャイズとホームタウン